



発行 KOA 森林塾 (事務局) 0265-70-7065
 編集 早川清志
 題字 島崎洋路

『山へ行き、苗を植える』

通年コース第一・二回開催報告「植林・測樹」

当日未明まで、淡いピンクの桜や鮮やかな黄色のレンギョウの花に降り注いだ穀雨も、少し冷気を含んだ風を残して止み、春の陽射しに包まれた山。

十数年前に山火事になり

そのまま放置されていた、伊那市下殿島区の区有林を森林塾の演習林としてお借りして四年目になります。今年は、そのなかでも比較的平らな部分での植林となりました。植林地の整備には、地拵

えという作業が必要で、ここは十数年の間にエゴノキやクロモジ、リョウブなどが背丈の倍以上には伸び、おまけに地面には焼けて倒れたアカマツも折り重なっていて、手強い作業となります。こうして整備された林地に、一坪一本の割合で小さなヒノキの苗を植林して頂きました。

一人平均二十本、合計三百本の植林は、重労働のため休憩をはさみながらも、昼過ぎ早々には終了し、その後は、過去の植林木の成長を見たり、芽吹きはじめた樹々を観察しながら、演習林を一周して現場作業を終了しました。とまれ、第一回目の、慣れない山仕事お疲れ様でした。

さて翌日は、鳩吹公園西側のヒノキ林にて測樹となりました。調査する広さを決めて、その中にある一本一本の太さを胸の高さで測ったり、何本かの木を選んで高さを測ります。最後に、切り株を

探して年輪を数える。特に樹高を測定するのが一苦労です。梢と根元が同時に見える場所を探すのに一汗、単純に見えるワイゼや輪尺に翻弄され、はたまたポールや釣竿を基準に親指と人差し指を尺取虫のように一二つ…。



即席、樹木分類教室

るかを纏めます。今回は、調査の方法とそのデータ整理、各指標を用いた現状分析まででしたが、次回には、それを使ってどのような施業をすべきなのか、検討してみたいと思っています。



山でのお昼は格別！



ゆっくりと、ていねいに



ひとクワ、ひとクワ

調査が終わったら、そのデータを整理して、今この時点で、どんな種類のどんな大きさの木がどれくらいあるか。

10時10分
早川先生による植林の時の季などの講義と植え方の

9時20分
分乗して西春近にある下殿島区々有林に向かう。林道入り口に車を停めて十分程の徒歩で植林現場へ。

12時
昼食。お弁当と森林塾恒例の豚汁。やはり現場で

9時30分
インストラクターとOBの方々が、根を切った苗を分配して、植林の開始です。風が少し冷たく、遮るもののない植林地でも、炎天とはならず、作業をするにはいい天気。個々に休憩をとりながら、一本一本丁寧に植えていき、用意した苗は残りわずかとなる。

8時30分
鳥崎先生の山小屋に集合。早川先生の挨拶。自己紹介や日程説明など。今年度の通年コースの始まりです。

通年コース第一・二回
4月22日(金)
植林

10時30分
三年生のヒノキ苗を、今年のは三百本。浦野種苗店さんが、箕輪町の母樹林から種を採取して育てた苗です。



ねらいを・・・さだめて・・・

13時 の昼食は格別！
残りわずかとなった苗を植えてしまう。

13時35分 芽吹き始めた樹々と過去の植林木の成長を見ながら、植林地を周回散策。周



胸の高さで、水平に

辺の森には、エゴノキやクロモジをはじめ、カエデ類やサクラ類など多くの樹木が見られる。また過去三年間に植栽されたヒノキは、その成長具合が展示林のよう。

14時35分



16時 終了、解散。

15時30分 小屋へ戻り、早川先生の植栽本数の説明と講評。とても丁寧に植えていただいたので、100%に近い活着が期待できるのではないかとのことでした。ありがとうございました。下草刈りのときにまた訪れる予定です。

15時 散策を終え、道具を片付けて現場を後にする。お疲れ様でした。

15時30分 小屋へ戻り、早川先生の植栽本数の説明と講評。とても丁寧

4月23日(土)
測樹

8時30分 鳥崎先生の山小屋に集合。

8時40分 講師挨拶、日程説明など

8時40分 森の現状を知ることなど測樹の目的や直径の測り方、樹高の測り方など測樹調査の方法の説明。

9時40分 天然生樹の林齢の測り方など質疑応答。休憩の後、三班に分かれて現場へ。

10時10分 鳩吹公園西側の伊那市有ヒノキ林にて調査を開始。プロットを設定して、その中のヒノキ全ての胸高直径を、直径巻尺や輪尺を使って測定。樹高は、大中小それぞれ二丁三本の測定。ワイゼヤ輪尺での機械的な測定のものにも、ポールや釣竿を使った目視測定を行ってみ

ました。林齢は切り株の年輪を数えて。

11時50分 各班、調査を終了したので、小屋へ戻り昼食。いい天気なので、公園の芝生のうえで昼食をとったり、付近を散策したり、思い思いに過ごす。

13時 各班でデータを整理する。林分平均の直径や樹高、ヘクタール当たりの本数や材積、上層樹高を算出する。

13時45分 林分形状比、相對幹距比地位指数の各指標について、早川先生に説明して頂く。

14時45分 各班にて、指標値を求める。体格判定の林分形状比。将来の樹高成長予測に地位指数。相對幹距比は、難解な公式に見えるけれど、考え方を理解すると・・・。

15時40分 早川先生の材積についての説明。

15時50分 質疑応答、講師総括。次回講座概要など諸連絡。

16時 終了、解散。

参加者/遠藤さん、春日さん、熊木さん、栗栖さん、小林さん、下崎さん、内藤さん、中神さん、松岡さん、角田さん、佐々木さん、小笠原さん、園田さん、斎藤さん、長坂さん

講師/早川先生
スタッフ/川島、後藤、平林、松岡、坂野

「じっくり、たっぷり、伐倒」
専門コース第一回開催報告

今年度も、他のコースに先駆けて、まず専門コースの第一回が開催されました。塾生は一人と寂しいものの、その分たくさん実践を行えることになりました。一人だと終始注目を浴びた中での伐倒となり、また時には、あちこちから違った指導が入ることから違った指導が入ることがあるかもしれません、いろいろな伐倒の考え方を独り占め状態と思ってみてください。

木を倒すことの基本は同じで、まず木の種類や林地の傾斜、集材の方法などを考慮します。そして伐倒木について、枝の張り出している方向や幹の傾き具合を判断し、伐倒方向を決めたら、退避路を確保する。ひとつとして同じということはありません。幾つかの条件を勘案した後に、一つの方法を選択することになります。です。ベストな伐倒というものは存在しないのかもしれませんが、しかし常にベストに近いベターな方法で木を倒したいものです。

今回は、K O A パインパークの敷地内アカマツ林を伐採していただきました。駐車場やテニスコートなど

に隣接した細長い林分では、おのずと伐倒方向が規定されがちななか、時にはチルホールや矢を使いながら、安全確実に伐倒をしていただきます。

専門コース第1回開催

4月14日(木)

16日(土)

一日目

8時30分

KOAパインパークに集合。先生、事務局のあいさつ、自己紹介、日程説明。体操。

8時45分

パインパークの間伐目的や保残木選定の説明のあと、対象林分のなかを検分。どの木をどの方向へ伐倒するかを助案する。



しっかりとした体勢で

9時

伐倒開始。まずは、細長い林分内に伐倒できる木から。刃渡り四十センチのマイチチェーンソーの始動。一人で、伐倒し枝払いし造材の作業となるので、一回の燃料補給でどのくらいの作業が可能なのか、一連の作業を無理なくどのくらいの時間継続できるのかを探りつつ、休憩を挟みながらの伐倒。

11時30分

SAWウイングにて昼食。

13時

午後の部開始。主に矢を使った伐倒を行ってみる。やはり休憩を十分取りながら

16時 作業終了、解散

二日目

8時30分

KOAパインパークに集合。体操のあと、前日午後引き続き、主に矢を使った伐倒となる。かかり木の処理も数本行う。

11時30分

今日もSAWウイングにて昼食。

13時

午後の部開始。徐々に通路や駐車場に近い木の伐倒となり、チルホールを使うことが多くなる。

16時

作業終了、解散

三日目

8時30分

KOAパインパークに集合。体操。



てこの原理で、エイヤッ!

8時40分

今日は、林分東側のテニスコートに隣接する部分での伐倒にかかると、再度林分状況の確認を行う。

9時

伐倒開始。チェーンソーの構え方や立ち位置、枝払い姿勢など前二日間の集大成第一段。

12時

今日は現場でお弁当。

13時

集大成第二段。矢とチルホールの使い分け。材の動きに合わせた造材。

16時

肩の力が抜けて上手になったと講師講評。三日間で五十本余りの伐倒を行い、作業を終了。お疲れ様でした。

次回以降の予定

第三回 5月20日(金)

施業診断

測樹の結果、その林分の現況がわかります。今後どのような山にしていくか、間伐の時期とその方法など施業の方針を決めます。8時30分鳥崎先生の山小屋に集合。



第四回 5月21日(土)

樹木分類

森には様々な樹があり、この樹がなんの樹か、わかると妙に嬉しかったりする。樹の名前を覚えるきっかけに、葉っぱの検索と樹木散策。8時30分鳥崎先生の山小屋に集合。



リレー通信

「リレー通信によせて」

遠藤 誠子

一昨年の集中コースにお世話になり、今回通年コースに参加させていただくことになりました。遠藤誠子(えんどうせいこ)と申します。集中コースで初めて体験した山仕事を楽しみ、通年コースにはいつか参加したいなあ、憧れを持っていました。ですが、前回楽しかったからという理由だけで参加するのは

気が引けておりました。しかし今回、思いがけず友人が参加するとの事で、「これは参加しない手はない」と参加させていただくことになりました。色々ご迷惑をお掛けすると思いますがよろしくお願ひ申し上げます。

きっかけは薪ストーブ

ご夫婦でセルフビルドされたという家に、一年前の冬に遊びに行ったときの事でした。隙間風があつて寒いのではないかとぶ厚いセーターを着込んで行ったのですが、(失礼ですよねえ、すみません)予想に反して薪ストーブが焚かれたそのログハウスの中はポカポカでした。燃える火の美しさと心地よい暖かさに私はすっかり魅了されてしまいました。

当時住んでいた長野県茅野市は冬の冷え込みが厳しく、冷え性で肩こりの私は冬がつかつたのですが、薪ストーブの前では体が芯から暖まり肩こりが楽になりました。そして、「うむ、何とかして薪ストーブの生活をしたい」と夢を抱くようになり、薪は買うと高く、とても維持できないので、自分で作るためにチェーンソーを使えるようになり、森林塾の集中コースに参加させていただいたの

でした。

楽しい山仕事

山仕事を生業にしておられる方からは「そんな甘いもんじゃない」と言われるかもしれませんが、初めての山仕事はキツさ怖さよりも楽しさが一番心に残っています。暗かった林に光が入って、気持ちの良い空間に変わったのを見ると、何とも言えない満足感が湧いてきて、「来て良かったなあ」としみじみ思いました。休日の過ごし方としても、私にとってはそれまで好きだった山歩きよりも楽しく癒され元気が出るものでした。山の手入れにもなるし、一石二鳥のとても良い趣味をみつけたかもしれないと思います。

薪ストーブの暮らし

その後、薪ストーブをつけることは借家の大家さんは許可してくれず、薪ストーブをつけさせてくれるような古い借家もなかなかみつからず、家を建てるのは予算的に無理だし、キットの家を購入して自分でセルフビルドすることも体力的に無理そうだし、薪ストーブはもう憧れに終わるのかなあと思っていました。

しかし、富士見町に坪一万円の土地があるとのこと！それなら私にも買えるかもしれないと話聞きにゆくと、集落のほずれのまさに里山といった雰囲気です。八ヶ岳と南アルプスが見える日当たりの良い土地でした。

その土地を紹介してくれた大工さんは、国産材で無垢の木の家を作っておられるとのこと。日本の林業にも良いですよ。そして何件か家を見せてもらったのですが、梁の自然な曲線が何とも言えず良くて、手間がかかっている感じが伝わって来ていそうですが値段を聞いてみると、今は金利も安く住宅ローンも借り時かもしれないし、と大胆にも結局その大工さんに、こじんまりした家を建ててもらい、晴

れて今年の冬から薪ストーブの生活が始まりました。

火を焚いていると楽しくて飽きないですね。最近テレビを見なく



なってしまう、世の中についていけなくなるではないかとちょっと不安です。

森林塾からいただいた唐松もとても良く燃えます。ありがとうございます。火付け直後に焚くと立ち上がり早くてすぐ暖まるので助かります。他の薪もあちこちからいただいたものばかりでいろいろな種類です。木それぞれ燃え方に持ち味があつて面白いものです。広葉樹じゃなければいけないなどということはないと聞いていましたが、実感しました。

一粒で三度おいしい森

森林塾で学ばれた方はその魅力についてはご承知のこと、私のような若輩者が言つのは気がひけますが、集中コースに参加させていただき感じたことをちょっと書かせていただきます。

まず第一の魅力は、やはり内容の素晴らしさでしょう。私のような素人にもわかりやすく、かつ林業のプロの方にとっても満足される深い内容だと思います。

第二の魅力は講師陣、インストラクターの方々の人間的魅力でしょうか。島崎先生、保科先生、早川先生たちの知識のすかさ、教え方のうまさ、人柄の暖かさは言うま

でもありません。インストラクターの方々も皆さん優秀で礼儀正しくフレンドリー、自然に尊敬してしまう方々です。

そして第三の魅力は参加者同士の交流でしょうか。ふだん会うことの無い様々な職業の人と語り合うことができるのも大きな魅力です。一粒で三度おいしいと書きましたが、いやいやもつとたくさん魅力があると書かれることでしょうか。ホントにたくさんの人にお勧めしたい気持ちです。

ふだん私は茅野市の病院で勤めさせてもらっていますが、森林組合の新規就職者の若者が健康診断にみえたことがありました。おばさんとしては心配でまるで世話焼きババアのように、「君たち森林塾って知ってる？林業の世界に入るなら一度は行っておいた方がいいよ」と言いたくて喉元まで出かかってきました。あ、いきなりそんなこと言われたら変だと思われるだろうなあ（と思ひ言えませんでした。今思うと言ってもよかったです。なあと思ったりします。

とりとめなく書いてしまいましたが、どうぞ今後とも宜しくお願い申し上げます。



コラム

山笑う、春本番の季節になりましたね。

染井吉野はもう終わりになってしまうのですが、これから、山桜やうわみず桜、深山桜などが目を楽ませてくれます。随分前に友達から、桜の木は枝の先まで花が咲く力とエネルギーが強いから、桜から力をもらって健康になれると教えてくれました。確かに桜を見てみると、何だか不思議なパワーを感じます。お花見をするのは、もしかしたら桜がその不思議な力で人々を惹き付け、パワーを惜しみなく与えてくれる為なのかも知れないかなんて、とりとめもなく考えてしまいました。

春は山菜も楽しみな季節ですね。四月の中旬頃、近くの山へ出かけて行ったら、ニワトコが新芽を出していました。最初「ん？見たことあるけど何だったろう？」と考えたのですが、新芽と同時に花の蕾が付いていて、もしかしたらニワトコかな？と思って、小枝を折ってみました。髓が黄色だったので、間違いないと確信。少しだけいただいて、油炒めにして、その日の酒のつまみに使ったのでした。

そこには、うぐいすかぐらも沢山群生していて、六月頃

に赤いさくらんぼの小型みたいな実をつけて、これも食べられます。私はまだ食べた事がないので、密かに楽しみにしているのです。

「一篇」

おわりに

KOA森林塾も今年で十二年目になります。十一年間常勤で講師をして頂いていました保科先生と島崎先生は非常勤となられます。間伐、枝打ちの実践に限り、講義していただく予定です。

事務局としては今年もまず、安全第一。この点に関しては細心の注意を払って運営していきたいと思っております。皆さんのご協力お願いいたします。また、ご意見とかご要望とどしどしお寄せください。

インストラクターの方々、今まで以上にお世話になります。今年もよろしくお願いたします。

投稿大歓迎。ご意見、ご質問、ご要望、事務局まで。

TEL 0265-70-7065
FAX 0265-70-7994



E-mail:
ki-hayakawa@koanet.co.jp
sh-sakano@koanet.co.jp
携帯:090-4463-0062(開催日)
URL http://www.koanet.co.jp